

令和5年10月 港文化小劇場催し物のご案内

開催日	催事名	開催時間	問い合わせ先	入場料
1日（日）	第２７回　バイオリン発表会	開場　13:00 開演　13:30	メヌエットバイオリン教室 090-7691-8296(田中)	無料
１２日（木）	みんなとみなとコーラスの練習	16:00～	港文化小劇場 052-654-8214	練習受講料 500円/回
１４日（土）	Brass Express NAGOYA 第30回定期演奏会	開演　14:00 終演　16:00	Brass Express NAGOYA brassexpressnagoya@gmail.com	無料
２６日（木）	みんなとみなとコーラスの練習	16:00～	港文化小劇場 052-654-8214	練習受講料 500円/回
２８日（土）	第５回みんなとみなとコーラスコンサート (ゲスト:合唱団クローバー(中川文化小劇場))	開演　14:00 終演　未　定	港文化小劇場 052-654-8214	無料
２９日（日）	第36回　薩摩琵琶鯱水会演奏会	開演　13:30 終演　15:30	薩摩琵琶鯱水会事務局 090-3589-8036(林香水)	無料

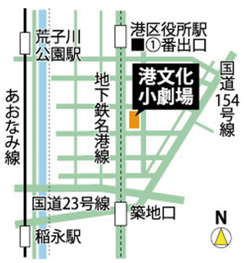
※　予期なく主催者の都合により記載内容が一部変更になることがあります。
※　催し物の時間・内容が変更されることがありますので、詳細は各主催者にお問い合わせください。

令和６年度工事休館のお知らせ

港文化小劇場は、空調機器の更新工事のため下記の期間において臨時休館とさせていただきます。
期間：令和６年６月１日(土)から８月３１日(土)まで（３ヶ月間）　　施設：ホール・練習室
みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。



港文化小劇場
名古屋市港区港楽二丁目10番24号
TEL　052−654−8214
FAX　052−654−8215
■受付時間
休館日を除く　９：００～２０：００
日曜日、祝日は９：００～１７：００
（web上による先着順仮受付は24時間）
■休館日
月曜日（休日の場合は翌平日）



【交通アクセス】

・地下鉄名港線「港区役所」駅１番出口より南へ徒歩３分

・あおなみ線「稲永」駅より、市バス港区役所行き「港郵便局」バス停すぐ

さまざまな公演イベント情報を配信！
mag@bunka758.or.jp
ご希望の方は携帯・PCから空メール（件名・本文なしのメール）を送って下さい。
メルマガ会員募集!!
ブンカなごや情報
購読無料

「友の会」会員募集中！
http://www.bunka758.or.jp/

この印刷物は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

盲導犬育成は皆様のご支援で成り立っています。
会費会員募集中！！（税額控除を受けられます。）
社会福祉法人中部盲導犬協会
電話番号：052-661-3111
http://www.chubu-moudouken.jp/

みんなとみなとコーラスメンバー募集中!!　くわしくは港文化小劇場(052)654-8214までお気軽に!!

港文化小劇場情報

みんなと通信

2023年 10 October

表紙のうた

日本三大狸伝説のひとつに数えられる「狸ばやしの伝説」をうたった童謡で、大正１４年に発表されました。
証城寺は、江戸時代初期千葉県木更津に創建された浄土真宗のお寺、證誠寺のことです。月夜の晩に和尚さんとおはやしの競争をして、ついには腹の皮が破れて死んでしまった大狸の伝説は童謡となり今に歌い継がれているのです。

「証城寺の狸囃子」
作詞　野口雨情
作曲　中山晋平

証　証　証城寺
証城寺の庭は
つ　つ　月夜だ
みんな出て　来い来い来い
おいらの友だちゃ
ぽんぽこ　ぽんの　ぽん
負けるな　負けるな
和尚さんに　負けるな
来い　来い　来い
来い　来い　来い
みんな出て　来い来い来い
証　証　証城寺
証城寺の萩は
つ　つ　月夜に　花盛り
おいらは浮かれて
ぽんぽこ　ぽんの　ぽん

♪証　証　証城寺
証城寺の庭は
つ　つ　月夜だ
みんな出て　来い来い来い



名古屋市港文化小劇場月刊情報

公益財団法人名古屋市文化振興事業団は今年、設立４０周年を迎えます。

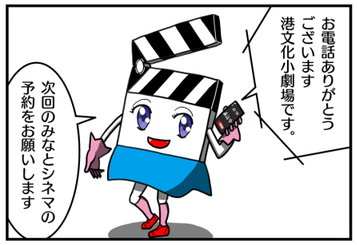
カーエンジニアの総合学校　入学生募集中！
〒455-0015　名古屋市港区港栄 1-7-12　TEL　052-653-4123
学校法人 日産学園
専門学校 日産愛知自動車大学校
港区役所駅から徒歩１分

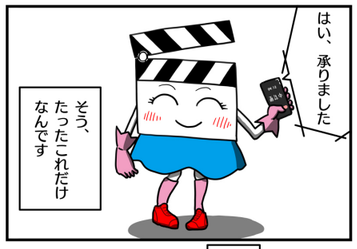
小さな家族のお葬式　愛ペットセレモニー ありがとう
火葬拾骨代行　火葬搬送代行　手元供養品　ペット棺販売
052-661-2550
－運営－
株式会社 名港葬儀／港区港楽３-１３-１７

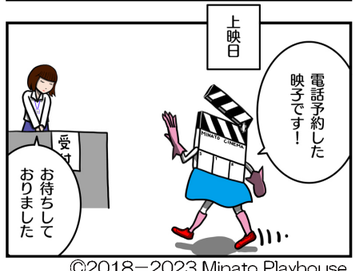
映画の映子ちゃん(66)

電話予約









©2018−2023 Minato Playhouse

スマホでアクセス

映子のお気に入り

ザ・クリエイター 創造者

2075年、人類を守るために作られたはずのAIにより引き起こされたロサンゼルスでの核爆発から勃発した人類とAIの戦争のさなか、高度な兵器を生み出す創造者〝クリエイター〟の暗殺任務を受けた元特殊部隊のジョシュアが突き止めた創造者の姿は、なんと少女の姿をした半分機械のヒューマノイドだった。謎のヒューマノイドとして渡辺謙も出演する近未来SFアクション映画「ザ・クリエイター／創造者」は10月20日（金）ロードショー！

※予期なく上映開始日などが変更になることがあります。

20th Century Studios = New Regency = Entertainment One

みんなとみなと コーラス 第5回 コンサート

2023.10.28.(土)

劇場パートナー



ゲスト 合唱団クローバー（中川文化小劇場）

入場無料

▲第4回みんなとみなとコーラスコンサートより

14：00開演（13：30開場）

出演：劇場パートナー「みんなとみなとコーラス」

問合わせ：港文化小劇場(052)654-8214

主催：公財団法人 名古屋市文化振興事業団［港文化小劇場］



おしゃべりピアニスト ひらめ（伴奏・指導）

Dr.ナダレンジャー現る!!

8月3日、港文化小劇場に「自然災害のこわさ」を伝えるため、Dr．ナダレンジャーがやってきた！！自然災害の現象をわかりやすく説明するため彼の開発した「ナダレンジャー」、「エッキー」、「ゆらゆら」、「タイリュウジャー」などユニークなアイテムで自然災害の発生メカニズムを楽しく教えてくれた。黒子役で助手のナダレンコとともに、集まってくれた子どもたちにさまざまな現象を体験させてくれワクワク！どきどき！！が止まらない。あっという間に子どもたちはDr．ナダレンジャーの一挙一動に夢中になっていく。終演後回収したアンケートには、大人も楽しめた！また見たい！など嬉しい感想をいっぱい頂きました。舞台上に子どもたちを集めての「ゆらゆら」はとても印象的でした。

Dr.ナダレンジャーの自然災害科学実験ショー -楽しく学ぶこわい災害- 2023年8月3日上演より





客席に現れたDr．ナダレンジャー



ナダレンジャー0号をつかって雪崩の現象を説明



11月の港文化小劇場は…



11月8日(水)



みなとシネマ～なつかしの邦画特集～

夕陽の丘

出演：石原　裕次郎
　　浅丘　ルリ子ほか
監督：松尾　昭典
　　1964年　日活
　　89分　カラー

兄貴分のやくざ、森川が服役して留守の間に彼の愛人である長島聖子と許されざる恋仲に陥った篠原健次。
そんなある日二人の仲をバラすという男が現れる。

第1回 10：30～
第2回 14：00～
（開場は各30分前）
全指定席　500円

館長のワン・フレーズ 日常と吹奏楽コンクール





先日、芸能人が絵画の腕前を競うテレビ番組を観ていると、使われているBGMのほとんどが全日本吹奏楽コンクールの課題曲であることに気が付きました。「行進曲やポップス調、和風なメロディと新旧織り交ぜて、ここ20年くらいの課題曲のオンパレードではないですか！

選曲した音響スタッフさんは40歳前後の元吹奏楽部員かな？と想像します。平成21年に港区の名古屋市立東港中学校吹奏楽部が全国大会に出場した時のマーチ「青空と太陽」（藤代敏裕作曲）も聞こえてきて、とっても懐かしく感じました。当時の全国大会は、東京杉並の普門館で行われていましたね。時代が変わって会場も変わり、今や名古屋国際会議場センチュリーホールは、〝吹奏楽の甲子園〟と呼ばれるようになりました。しかし、これも今年まで。来年からはホールの工事休館のため、会場を関東に移します。

これまで中高生の吹奏楽部と言えば40～50人の編成が標準的でしたが、昨今では20～30人前後で全国大会に駒を進める学校も珍しくありません。中には10人以下での演奏で代表の切符を掴む学校もあります。

部活動のあり方も変化していく世の中ですが、音楽などの生の文化芸術に触れる学生さんが減ってしまわないように願うばかりです。

まずは見学してみませんか？

みんなとみなとコーラス 10月の練習日

10/12(木),26(木)

各回16:00～17:30

くわしくは劇場へお問い合わせください。
（052）654−8214

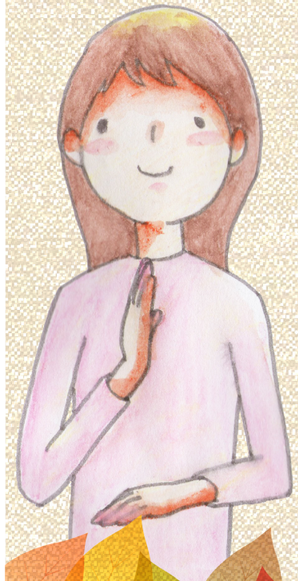
名古屋市港文化小劇場　ホール競合受付 練習室先着受付　のご案内

港文化小劇場のホールは、文化活動を目的としたご利用の場合１年前からお申し込みが可能です。また練習室単独でのご利用の場合は、使用する月の２ヶ月前からお申し込みできます。

◆ホール競合受付　令和６年１０月分：
　令和５年１０月１日（日）～１０月５日（木）
　期間中の休館日は２日（月）です
◆練習室先着受付　令和５年１２月分：
　令和５年１０月１日午前９時より先着申し込み

手話とドラマ

みんなとみなとのコラム

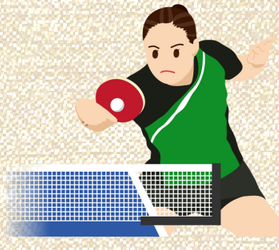


ここのところ手話や、ろう者の世界について取り上げたドラマが放送されることが多くなっています。最近では川口春奈さんや目黒蓮さん出演の「ｓｉｌｅｎｔ」をはじめ、「星降る夜に」「しずかちゃんとパパ」だったり、かなり前だと「愛していると言ってくれ」なんてのもありました。

少しだけ手話を勉強している私からしたら、俳優さんたちの手話がとても上手でわかりやすくて努力のあとが見えて感心してしまいます。ドラマを見たあとはちょっと手話ができるような気になったりならなかったり。

そしてこの冬、手話通訳士が主人公のドラマがもう一つ放送されます。以前このコラムでも小説を紹介したことがある「デフ・ヴォイス法廷の手話通訳士」です。主人公はろう者の両親の間に生まれた耳の聴こえる子ども、コーダ（Children of Deaf Adultsの略）です。彼が手話を活かして「手話通訳士」となり新しい人生のスタートを切る物語です。主人公役となる草彅剛さんの手話にも注目です。

また、２０名近い「ろう者・難聴者」のほぼすべての役を実際にろう・難聴の俳優さんが演じるのだそうです。これはこの作品ならではの試みなんだそうです。楽しみです。



２０２５年には世界規模で行われる聴覚障害者のための総合スポーツ競技大会「デフリンピック」が日本で初めて開催されるそうです。
ドラマを見て手話やろう者、ろう文化に触れてみるのもいいかも知れません。　（お）